

看護師の 特定行為研修

との併用が**オススメ**です！

全国の指定研修機関で
ぞくぞく採用中

包括的に診る・看る力を育てる教材です！

- 特定行為研修に必要な教材をすべてご用意！ 研修をすぐに始められます
- 臨床推論やフィジカルアセスメントをはじめとした医学的知識を学び、包括的に診る・看る力を育てます
- 厚生労働省が定めたカリキュラムを満たしているだけでなく、看護をかえるためのさまざまな特長があります

論理的思考・判断力を育てる
講義・テスト



ケアに落とし込む
演習・実習



有名講師陣による
手技動画



指定研修機関になるための申請もサポート！

- 新たな指定研修機関になるための申請をサポート！ 他社教材からの切替もサポートします
- すでに指定研修機関であるご施設について、カリキュラム変更や区分別科目/領域別パッケージを追加する際の変更届作成もお手伝いいたします！

公開スケジュール

		2025年4月	2025年10月
修了者向け	特定行為アセスメントコース	12テーマ	—
	臨床推論コース	—	5テーマ
施設全体・修了者向け	制度理解・体制整備コース	—	2テーマ

受講費用 (税別)

年度契約

年度途中からのお申し込みも可能

オプションでご契約の場合※1

10,000円 /月

看護師の
特定行為研修 **実践サポート**
単独でご契約の場合※2

20,000円 /月

※1：学研ナースニングサポート、ビジュアルナースニングメソッド、看護師の特定行為研修（共通科目のみ）、学研訪問看護サポート（50ID）、学研介護サポート（施設契約・法人契約）のいずれかをご利用の場合

※2：受講者用IDの上限数は50個となります。それ以上のID数をお求めの場合は営業部へお問い合わせください

お問い合わせ・資料請求は

株式会社 学研メディカルサポート
〒141-8414 東京都品川区西五反田 2-11-8

TEL: 03-6431-1228 (代表) 平日 9:00~18:00
担当：営業部
FAX 03-6431-1414 WEB <https://gakken-meds.jp>



20241001

2025年度
約20テーマ
公開

看護師の 特定行為研修 実践サポート

修了者の「力」をもっと現場に届けるために

施設みんなで学べるe-ラーニング



New

領域別パッケージ修了者をフォローアップ！
術中麻酔管理領域の知識を強化するテーマを追加予定！（2025年度）

修了者の「力」を伸ばすフォローアップ教材！

+

施設全体の体制づくりに必要なポイントも徹底解説！

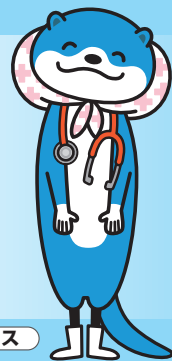


看護師の 特定行為研修 実践サポート

とは？



ホー先生
コツナースのメンター



コツナース
勉強熱心！
でもちょっとそそかしい看護師

- 特定行為研修修了者の「力」をもっと伸ばしたい
- 特定行為を使ったケアをもっと患者に届けたい

このようなご施設の声にお応えして、さまざまな**学びと情報**を提供します！

修了者をフォローアップ！

アセスメント・臨床推論について
修了者の医学・看護知識を
約30分でフォローアップ！



⇒P3へ

施設の体制づくりをサポート！

病院・施設全体で
制度を知り、体制をつくる！



⇒P6へ

特定行為研修修了者とは？

指定研修機関で**特定行為研修**を受講し修了した看護師

共通科目（約250時間）＋ 区別科目／領域別パッケージ

38行為のなかから自身が修了した特定行為を、手順書により
医師の判断を待たずに行えます

患者の変化にいち早く気づき、医師の不在時でもチーム医療の
中心として**継続的な医療を円滑に患者に届ける**ことが期待
されています

継続的な医療の提供のために、
修了者が学び続けること、
施設の体制づくりが大切だといわれています



修了者の医学・看護知識をフォローアップ！

特定行為アセスメントコース

特定行為および看護ケアを3つのステップで考える
自らが判断して特定行為および看護ケアを提供するための
情報収集力、判断力、連携力を鍛えます

Point!

特定行為以外の対応も一緒に検討！
それぞれの区別科目修了者に向けて、
おすすめコースをご用意！

動画の流れ

1 症例情報と設問の提示



3
回
行
い
ま
す

2 ワーク提出



3 解説視聴



ワークは3種類

- ワーク1 情報収集力 アセスメントに必要な情報を考える
- ワーク2 判断力 特定行為を行うかを判断する
- ワーク3 連携力 医師および多職種に情報を共有する

※テーマによりワークの変更があります

「ワンポイント」で手順書の活用方法や、
病態についてより深い学びをご提供！

テーマ一覧はP4へ

臨床推論コース

他者の臨床推論の過程を
批判的に検討する

合ってる？間違ってる？

看護師として患者に最善の「医療」を選択するために必要な
臨床推論力を鍛えます

Point!

一緒に学習する修了者のコツナースが登場！
彼の臨床推論は本当に合っている？
間違えやすいポイントを徹底解説

動画の流れ

1 症例情報とコツナースの臨床推論の提示



- ・ 主訴
 - ・ 既往歴
 - ・ 患者情報
 - ・ ROS
 - ・ 身体所見
 - ・ 検査結果
- などが提示されるよ

2 ワーク提出



3 解説視聴



医師の思考過程を復習



「ワンポイント」で最新情報や
疾患のプラスアルファの知識もご提供！

テーマ一覧はP5へ



特定行為アセスメントコース

公開中のテーマ

テーマ名	講師（所属）
経口用気管チューブ又は 経鼻用気管チューブの位置の調整	吉田 奏 先生 聖路加国際病院 麻酔科・周術期センター 周麻酔期看護師
侵襲的陽圧換気の設定の変更	半崎 隼人 先生 大阪府済生会中津病院 集中ケア認定看護師/ 特定行為研修修了者
非侵襲的陽圧換気の設定の変更	畑 貴美子 先生 地域医療振興協会 JADECOMアカデミー NP・NDC研修センター 特定ケア看護師/ クリティカルケア認定看護師
人工呼吸管理がなされている者に対する 鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱	半崎 隼人 先生 大阪府済生会中津病院
気管カニューレの交換	本田 和也 先生 独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター 教育センター・脳神経外科 副看護部長/ 診療看護師 (NP)
低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定 及びその変更 胸腔ドレーンの抜去	五十嵐 真里 先生 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 特定行為看護師養成分野 講師
腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された 穿刺針の抜針を含む。）	筑井 菜々子 先生 地域医療振興協会 JADECOMアカデミー NP・NDC研修センター 診療看護師 (NP)
胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル 又は胃ろうボタンの交換	五十嵐 真里 先生 国際医療福祉大学大学院
中心静脈カテーテルの抜去	小波本 直也 先生 聖マリアンナ医科大学病院 看護部 診療看護師 (NP)

※講師の肩書は収録時のものです

2025年4月公開テーマ一覧

New

※2024年10月時点での情報です

テーマ名	テーマ名
一時的ペースメーカーの操作及び管理	心嚢ドレーンの抜去
一時的ペースメーカーリードの抜去	膀胱ろうカテーテルの交換
経皮的心肺補助装置の操作及び管理	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理
	抗けいれん剤の臨時的投与
	抗精神病薬の臨時的投与
	抗不安薬の臨時的投与



2025年度中に
38行為すべてが
揃います!

臨床推論コース

公開中のテーマ

テーマ名	講師（所属）	テーマ名	講師（所属）
「朝、ずっとぼんやりしていて」意識障害	内藤 貴基 先生 聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教	「母の認知症が進んだ」	山田 悠史 先生 Brookdale Department of Geriatrics and Palliative Medicine Icahn School of Medicine at Mount Sinai
「お腹がドーンとするような感じ」腹痛		「路上で発見されました、意識がありません」 低体温	三反田 拓志 先生 東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科(集中治療部門) 医長
「なんだかきもちが悪いのよ…」食欲不振		「お腹が痛いようですが、不穏でこれ以上 聴取できません」不穏	野口 善令 先生 豊田地域医療センター 総合診療科 教育顧問
「頭がずきずきと痛みます!」頭痛	春田 淳志 先生 慶應義塾大学 医学部 医学教育統轄センター 教授	「4日前から便がでません」便秘	山本 真輝 先生 藤田医科大学 連携地域医療学 助教/ 豊田地域医療センター 総合診療科
「胃のあたりが苦しい」胸痛	中村 通孝 先生 西和医療センター 集中治療科 副部長	「寒気がして震えが止まりません」腰痛	磯川 修太郎 先生 聖路加国際病院 救急科 医幹
「飲んでいたら急に目の前がぐるぐるし始めた」 めまい	山本 興幸 先生 東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科	「下痢がひどくて、全身もだるいです」発熱	佐藤 健太郎 先生 聖マリアンナ医科大学病院 整形外科学講座 助教
「なんかしんどいのよ…」発熱		「足がしびれて座れません」しびれ	
「く・る・し…」呼吸困難			
「気づいたら床にいた…頭が痛い」転倒・転落	中村 通孝 先生 西和医療センター 集中治療科 副部長		
「家の中を歩き回ってるんです」徘徊	春田 淳志 先生 慶應義塾大学 医学部 医学教育統轄センター 教授		
「首がずきずきと痛くて…」頸部痛	藤川 裕恭 先生 慶應義塾大学 医学部 総合診療教育センター 助教		
「お腹が痛いです…」下腹部痛			

※講師の肩書は収録時のものです

New 2025年10月から 術中麻酔管理領域の知識を強化するテーマを追加予定

15分程度の講義
麻酔器、麻酔の影響など
手術室で必要な周辺知識を強化

30分程度のワーク(事例)
共通科目や領域別パッケージで
学んだ知識を統合



声

特定行為研修修了者のサポートとスキルアップのために

当院は、2022年から特定行為指定研修機関となりました。研修修了者のサポートと、医師や看護部へ特定行為研修修了者の活動の理解と周知をはかるために、「看護師の特定行為研修 実践サポート」を導入しました。研修修了者が研修を振り返り、自ら考えることができるように、研修終了後から繰り返し視聴することができ、実践につながっています。事例を用いてディスカッションすることで、アセスメント力の向上や臨床推論力が鍛えられています。



富士市立中央病院
左: 齋藤 正美 様
教育担当副看護部長
中央: 秋山 ゆかり 様
副院長兼看護部長
右: 若林 久美子 様
特定・認定看護師担当看護長

病院・施設全体で制度を知り、体制をつくる！

制度理解・体制整備コース

自施設の現状に合わせて段階的に学べる

特定行為に関する施設の**課題解決をサポート！**
解決方法を検討し、**体制を段階的**に整えられます！



講義

ワークシート

自施設に落とし込むためのワークシート付き

講義では、修了者活躍を実現するためのプロセスを解説
さらに「**ワークシート**」に取り組むことで
自施設の**現状分析のポイント**と**具体的な方策**がみえてきます
患者・スタッフ向けのポスターなどのサンプルもあります



それぞれの立場に向けて

特定行為運営委員会、看護管理者、医師など
修了者とかかわるすべての人向けにそれぞれの役割を解説！

修了者に	どのような活動をしたいか を考えるきっかけと伝えるためのツールを提供します
特定行為 運営委員会に	修了者の活動を施設全体で支える ためのヒントをお伝えします 他施設の成功事例 （修了者の活用ビジョン、仕組みなど）もご提供します
看護部に	修了者の独り立ちや病棟での活躍に向けて、 看護部・協働するみんなですること をお伝えします
医師に	修了者とともに働くこと をイメージするために、特定行為に関する制度、 法的位置づけ、 医師の役割 をコンパクトにお伝えします



すでに現場で活躍している修了者、
協働する多職種のインタビュー動画も追加公開！

テーマ一覧

対象	テーマ名	講師名(所属)	時間
修了者関連 New インタビュー	修了者として活躍するためのコツ	筑井 菜々子 先生 地域医療振興協会 JADECOMアカデミー NP・NDC研修センター 診療看護師	約45分
	周囲との関係性構築のコツ		約35分
	特定行為研修修了者としての活躍～RRSの場合～	藤田 玲 先生 横浜市立大学 附属市民総合医療センター 看護部	約15分
	PICCの実践状況	鈴木 達也 先生/蓮江 健一郎 先生 医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院 特定行為研修修了者/副院長	約15分
特定行為 運営委員会関連 New インタビュー	第一の障壁突破：構想 特定行為研修修了者を活かす・育てるビジョンの持ち方	佐伯 昌俊 先生 千葉大学大学院 看護学研究院 看護学研究科・看護学部 先端実践看護学研究部門 高度実践看護学講座	約10分
	第一の障壁突破：育成と配置 特定行為研修修了者の育成と配置		約15分
	第二の障壁突破：活用 特定行為修了者を迎える組織管理者と部署管理者が行うこと	中井 智子 先生 滋賀医科大学医学部附属病院 看護師特定行為研修センター 看護臨床准教授/認定看護管理者	約15分
	第二の障壁突破：普及・周知 特定行為研修修了者の持続的な活躍促進のために		約15分
看護部関連	院内に修了者を広める仕組み～PICC～	鈴木 龍太 先生/小澤 美紀 先生/蓮江 健一郎 先生 医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院 院長/看護部長/副院長	約15分
	第一の障壁突破：構想 部署の配置活用ビジョンをみんなで作る	西宮 岳 先生 千葉大学医学部附属病院 副看護部長	約20分
	第一の障壁突破：育成・配置 特定行為研修受講者の学びを支え、修了者を迎える		約15分
	第二の障壁突破：活用 特定行為研修修了者とともに働く	鈴木 靖子 先生 地域医療振興協会 JADECOMアカデミー NP・NDC研修センター 次長	約15分
医師関連	第二の障壁突破：普及・周知 持続的に活躍できるチームになる		約15分
	医師が知っておくべき特定行為研修制度	北川 裕利 先生 滋賀医科大学 麻酔学講座 教授 / 看護師特定行為研修センター長	約15分
	医師が特定行為研修修了者と協働するためのポイント	大島 拓 先生 千葉大学大学院 医学研究院 救急集中治療医学	約15分
	特定行為研修修了者を含む チーム構築・運用のコツ(前半・後半)	中村 京太 先生 横浜市立大学 附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部 診療教授	約20分

※講師の肩書は収録時のものです



制度理解・体制整備コース監修者から一言

「病院・施設全体で取り組む大切さ」

特定行為研修修了者が組織のなかで活躍するためには、病院・施設全体で体制整備に取り組むことが必要です。患者、利用者、国民に対してより良い医療提供を行うために、また特定行為研修修了者の活動を説明するために、そして修了者を孤立させないために、多くの施設で試行錯誤を繰り返していらっしゃるかと思います。

今回、「制度理解・体制整備コース」として組織的に修了者の導入、複数配置、活用、普及に取り組む際の道しるべとなる教材をつくりました。教材では施設の機能や状況に合わせた修了者の育成、配置、活用、普及、周知のプロセスをわかりやすく解説しています。



酒井 郁子 先生
(千葉大学大学院 看護学研究院
先端実践看護学研究部門
高度実践看護学講座 教授)